

慶田 収教授 略歴・業績

履歴

- 1951年 長崎県島原市生
- 1974年 九州大学経済学部卒業
- 1976年 九州大学大学院経済学研究科修士課程修了
- 1979年 九州大学大学院経済学研究科博士課程単位取得満期退学
- 1979年 九州共立大学経済学部講師
- 1981年 熊本商科大学経済学部講師
- 1984年 熊本商科大学経済学部助教授
- 1986年～1987年 アメリカ合衆国モンタナ州立大学交換教員
- 1989年～1990年 アメリカ合衆国, イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校客員研究員
- 1991年 熊本商科大学経済学部教授
- 1994年 熊本学園大学経済学部教授(大学名改称による)
- 2004年～2005年 スペイン、アリカンテ大学客員研究員
- 2021年3月末 熊本学園大学定年退職
- 2021年4月 称号：熊本学園大学名誉教授

所属学会

- 1974年～ 日本応用経済学会(旧西日本理論経済学会)
- 1976年～ 九州経済学会
- 1987年～ 応用地域学会

研究業績

1 著書

<共編著>

- 1995年 『ミクロ経済分析 一表計算で学ぶ経済学一』(中央経済社)
- 2000年 『現代経済学』(勁草書房)
- 2015年 『ミクロ経済学入門』(日本評論社)

2 論文等

- 1977年 「都市経済モデルに関する一考察 —Segregated Land Allocationの場合—」『経済論究』第41号(九州大学大学院経済学会)
- 1978年 「郊外地域の生産効率と環境地代」『経済論究』第43号(九州大学大学院経済学会)
- 1980年 「ハートウィク・モデルの最適領域型について」『九共経済論集』第6巻第1号(九州共立大学地域経済研究所)
- 1983年 “Cost Benefit Analysis and the Use of Land within an Urban Area”『海外事情研究』第10巻第2号(熊本商科大学附属海外事情研究所)
- 1986年 “Optimal Supply of Housing within an Urban City”『海外事情研究』第13巻第2号(熊本商科大学附属海外事情研究所)
- 1988年 「複数の住宅特性下での住宅立地」『熊本商科大学経済学部20周年記念論文集 現代経済学の諸問題Ⅱ』
- 1989年 “Land Development Process in the Markets of Monopoly and Duopoly”『熊本商大論集』第36巻第1号
- 1993年 “On the sharing of public facilities between two cities” 共著『Discussion paper』No.1(熊本商科大学附属産業経営研究所)
- 1994年 「外部効果のもとでの住宅密度と質について —W.Strange モデルの一般化—」『熊本商大論集』第40巻第3号(通巻97号)
- 1996年 「都市における近隣外部効果 —独占的競争産業—」『現代経済学研究』第5号(西日本理論経済学会)
- 1997年 “Private Provision of Housing under Hierarchical Externalities” *Public Policy and Economic Analysis* (九州大学出版会)
- 1998年 「戦後日本の経済発展 —「豊かさ」形成の基軸—」共著『熊本大学総合科目研究報告』第1号(熊本大学大学教育センター)
- 1998年 「高度経済成長後の都市発展 —中心型都市の基準と都市発展の特徴—」『熊本学園大学経済論集』第5巻第1・2合併号
- 1999年 「住宅立地の主体的均衡問題への公理的接近」『現代経済研究』第7号(西日本理論経済学会)
- 1999年 「社会資本整備と県民のニーズ —熊本県を事例として—」共著『熊本大学総合科目研究報告』第2号(熊本大学大学教育センター)
- 2000年 「パラメトリックな経済環境下での消費者均衡」『熊本学園大学経済学部開学三十周年記念論文集』
- 2001年 「人口から見た「熊本都市圏」と交通」『熊本県産業経済の推移と展望』(熊本学園大学附属産業経営研究所)

- 2006年 “Market Equilibrium Under the Circumstances of Selectable Economic Conditions”
Discussion paper: Instituto Valenciano de investigaciones Economicas, WP-AD 2006-02
- 2006年 「選択可能な経済環境のもとでの市場均衡」『熊本学園大学経済論集』第12巻第3・4合併号
- 2008年 「選択可能な経済環境のもとでの市場均衡 ー生産と消費からなる経済の場合ー」『熊本学園大学経済論集』第14巻第1・2・3・4合併号
- 2010年 「熊本都市圏の地域公共交通と交通需要者選択行動」『グローバル化する九州・熊本の産業経済の自立と連携』（熊本学園大学付属産業経営研究所）
- 2011年 「レプリケーター・ダイナミクスに基づく“均等”立地均衡の安定性」『熊本学園大学経済論集』第17巻第1・2合併号、国際経済学科開設20周年記念号
- 2011年 「模倣ダイナミクスにもとづく立地」『熊本学園大学経済論集』第17巻第1・2合併号
- 2019年 「集団ゲームとしてのクールノー競争 ー生産技術が1つの場合ー」『理論経済学の新潮流武野秀樹博士米寿記念論集』（勁草書房）
- 2020年 「クールノー競争集団ゲーム ー生産技術が2つの場合ー」『経済学論纂』（中央大学）第60巻5・6合併号

<研究ノート>

- 2015年 「完全ポテンシャルゲームとしての正規形ゲームと混雑ゲームの性質」『熊本学園大学経済論集』第21巻第1-4合併号

<調査研究・調査報告>

- 1989年 「ゾーン人口とバス交通需要」『熊本市における都市交通の在り方（特に基幹バス導入等、バス輸送改善策）に関する調査研究』（熊本県バス協会、運輸事業振興助成交付金、バス輸送改善推進研究事業）
- 2013年 「アルゼンチン共和国ガルアペー計画入植地に関する調査報告 ー入植者子弟へのアンケート調査ー」『熊本学園大学経済論集』第19巻第3・4合併号

<翻訳>

- 2006年 「ファン・A・ヴァスケス＝ハビエル・マト「天然資源と人的資源」『海外事情研究』第34巻第1号（熊本学園大学付属海外事情研究所）
- 2009年 ラウラ・ロレンソ・カラスコサ「人口の高齢化の影響：年金生活者の未来」『海外事情研究』第36巻第2号（熊本学園大学付属海外事情研究所）

<報告>

- 1978年 1月 「都市経済学への一視角」経済学史学会西南部会、於：北九州大学
- 1979年 2月 「都市経済モデルに関する一考察 —Segregated Land Allocation の場合—」西日本理論経済学会、於：北九州大学
- 1980年 6月 「ハートウィッグ・モデルの最適市場型について」理論・計量経済学会西部部会、於：和歌山大学
- 1982年 10月 「都市領域における資源配分問題」理論・計量経済学会、於：京都産業大学
- 1985年 5月 「住宅サービスの最適供給」西日本理論経済学会、於：福岡大学
- 1988年 5月 「複数の住宅特性下での住宅立地」西日本理論経済学会、於：福岡大学
- 1991年 1月 “Land Development Process in the Markets of Monopoly and Duopoly” 西日本理論経済学会、於：九州産業大学
- 1993年 11月 「外部効果のもとでの住宅密度と質について —W.Strange モデルの一般化—」第7回応用地域科学研究会 (ARSC) 研究発表大会、於：東北大学
- 1994年 7月 “Private Supply of Housing under Hierarchical Externalities”, International Symposium 1994 on Public Policy and Economic Analysis at Kyusyu University
- 1998年 5月 「住宅立地均衡問題への公理的接近」西日本理論経済学会、於：福岡大学
- 1999年 12月 「主体的住宅立地均衡の公理分析」応用地域学会、於：熊本学園大学
- 2000年 7月 「パラメトックな経済環境下の消費者均衡」ミクロ経済学セミナー、於：九州大学
- 2003年 5月 「選択可能な経済環境下の一般均衡」西日本理論経済学会第123例会、於：福岡大学
- 2004年 3月 「選択可能な経済環境下の市場均衡」地域科学セミナー、於：名古屋大学
- 2004年 3月 「選択可能な経済環境下の市場均衡」Urban Economics Workshop 於：東京大学
- 2005年 5月 “Market Equilibrium Under the Circumstances of Selectable Economic Conditions” 西日本理論経済学会、於：福岡大学